

活動報告書

報告日付:2020年3月20日

事業ID:2016398768

事業名:埼玉県戸田市における第三の
居場所の運営(1年目)

団体名:Learning for All

事業完了日:2017年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の運営(1年目)

(1)期間:2016年11月~2017年3月

(2)場所:埼玉県戸田市

(3)内容:「第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完するため、拠点には専門スタッフを配置し、子ども達の生活習慣形成や非認知能力・学習意欲向上を図る。

2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜21時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- 1.拠点利用児童の募集
- 2.児童への居場所・読み聞かせ、学習支援・食事の提供
- 3.保護者、地域、行政との関係構築
- 4.全国展開に耐える事業モデルの構築

【目標の達成状況】

1.行政と協力して拠点利用児童の募集を行った。

2.全開所日において実施した。食事の提供については児童と保護者の世帯ごとのニーズに応じた対応をとった。あわせて、手洗いや歯磨き、入浴などの基本的な生活習慣の整っていない児童については、スタッフが一緒に実施することで、学びながら習慣づけられるように配慮した。

3.下記の通り、それぞれの関係構築を行った

- 保護者との関係性:保護者の皆さんからのご相談やご意見には真摯に向き合いつつ、拠点の目指しているもの、子どもたちにどう成長してほしいか等について、こちらの考えもしっかりと伝え、相互理解を深めることを意識して関係構築を行なった。
- 地域との関係性:見学会、オープン報告会等を実施し、地域の皆さんへの事業趣旨、拠点のビジョン等を共有し、まずは「知ってもらうこと」へ注力した。町会への登録、公園で積極的に地域の方と交流する、などを通して、拠点の知名度を向上させることができた。
- 行政との関係性:定期的な情報共有会議を設定し、利用児童募集について、また通所の児童に

ついでの情報共有、方針決定等を実施した。

4.地域や行政との繋がりを重視しつつ、社会的相続を補完するための知見を蓄積し、他拠点にも展開できる仕組みを採用した。たとえば、運営マニュアルの詳細化、具体化等を行った。子ども対応での課題や、リスク管理等、実際に始めてみてからわかったことが多いため、今後の運営に生かすため、日々の出来事や情報をしっかりと書き留め、情報収集を実施した。